

平成29年度進捗評価シート
恵那市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成30年3月26日）

□進捗評価シート（様式1）

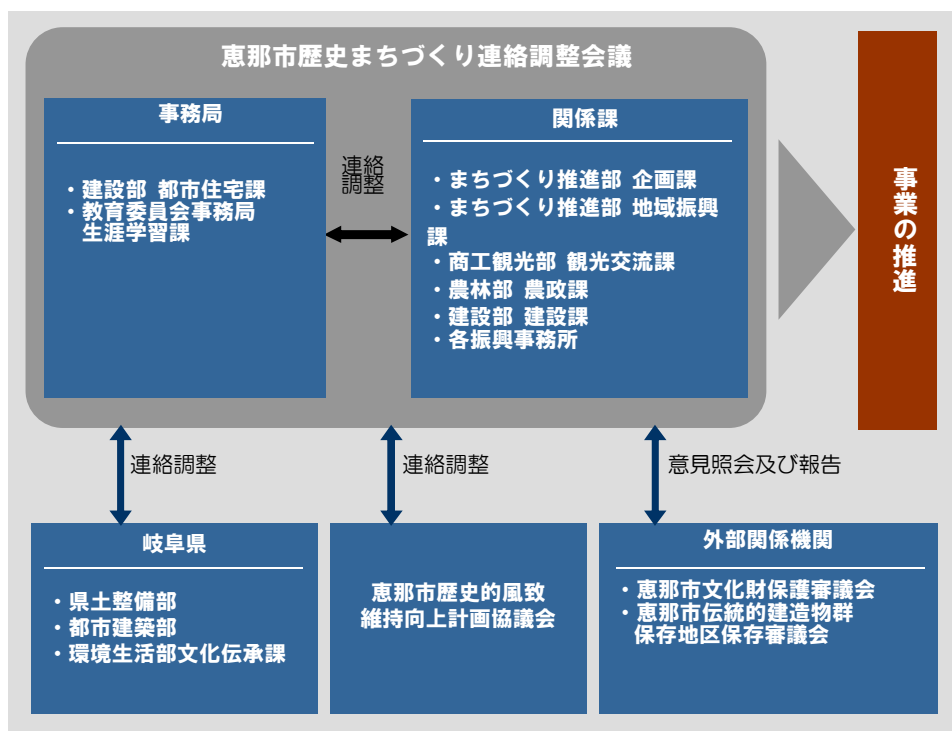
①組織体制（様式1－1）	
1 計画実現のための体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1－2）	
1 重要伝統的建造物群保存地区での取り組み	2
2 景観形成に関する取り組みについて	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1－3）	
1 岩村城石垣修理事業	4
2 岩村城下町まちなみ保存事業	5
3 岩村城登城道整備事業	6
4 祭礼復興事業（武並宮御祭礼規定に基づく祭礼）	7
5 歴史的町並み修景整備助成事業	8
6 ポケットパーク整備事業	9
7 道路美装事業	10
8 中山道保存修景整備事業	11
9 ふるさと文化普及継承事業	12
10 明治天皇大井行在所整備事業	13
④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1－4）	
1 文化財の防災	14
2 文化財の普及・啓発	15
⑤効果・影響等に関する報道（様式1－5）	
1 （報道等タイトル名）	16
⑥その他（効果等）（様式1－6）	
1 歴史・文化に対する住民意識の向上	17

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2）	18
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
計画実現のための体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	歴史まちづくり事業は、歴史、文化、観光、建設、都市整備等の多岐の分野に関連するため、本市では「歴史まちづくり連絡調整会議」を設置し、関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行うものとする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
都市住宅課・生涯学習課等関係課から構成される「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会については、平成29年4月13日及び平成30年3月26日に開催し、事業の評価報告や歴史的風致維持向上計画の変更について協議を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



■恵那市歴史的風致維持向上計画協議会
平成29年4月13日開催
審議事項
平成28年度歴史的風致維持向上計画の進
行管理・評価について

■恵那市歴史的風致維持向上計画協議会
平成30年3月26日開催
審議事項
歴史的風致維持向上計画の変更について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区での取り組み			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区に選定(平成10年4月)されている岩村町の商家町について、積極的に歴史資源として保存や活用を行ってきた。 岩村町全体のまちづくりに関わる組織である「城下町ホットいわむら」は、本町通りにおけるさまざまなイベントの企画・実施を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存地区内の建物で現状変更を行うときには、保存計画に定める方針・基準に従い、岩村城下町まちなみ保存事業を活用しながら実施している。また必要に応じて文化庁及び県環境部文化伝承課の指導、助言を受けている。平成29年度は4件の修理補助を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
修理前  ➡ 修理後  修理前  ➡ 修理後 			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
景観形成に関する取組について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	景観法に基づく景観計画の策定に向けて、平成20年度より庁内関係部課、学識経験者及び地域住民等で構成する景観計画策定委員会にて恵那市全域の方針や規制の検討を行うとともに、平成21年度からは、地域住民等で構成する地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について併せて検討を行っている。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
恵那市景観条例、恵那市景観条例施行規則は平成24年4月1日施行済みである。行為の届出に関するこの規定は、平成24年10月1日から施行している。 平成29年度の行為の届出件数は、事前協議件数 27件、届出件数 24件(平成30年1月31日現在)があった。 景観審議会では、恵那市屋外広告物条例施行規則の改正、景観形成重点地区の進め方について審議等を行った。 ・恵那市景観審議会 平成30年2月19日開催		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



審議会の様子



諮問の様子

- 恵那市景観審議会
 平成30年2月19日開催
 審議事項
 ・恵那市屋外広告物条例施行規則の改正について
 ・景観形成重点地区の進め方について

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

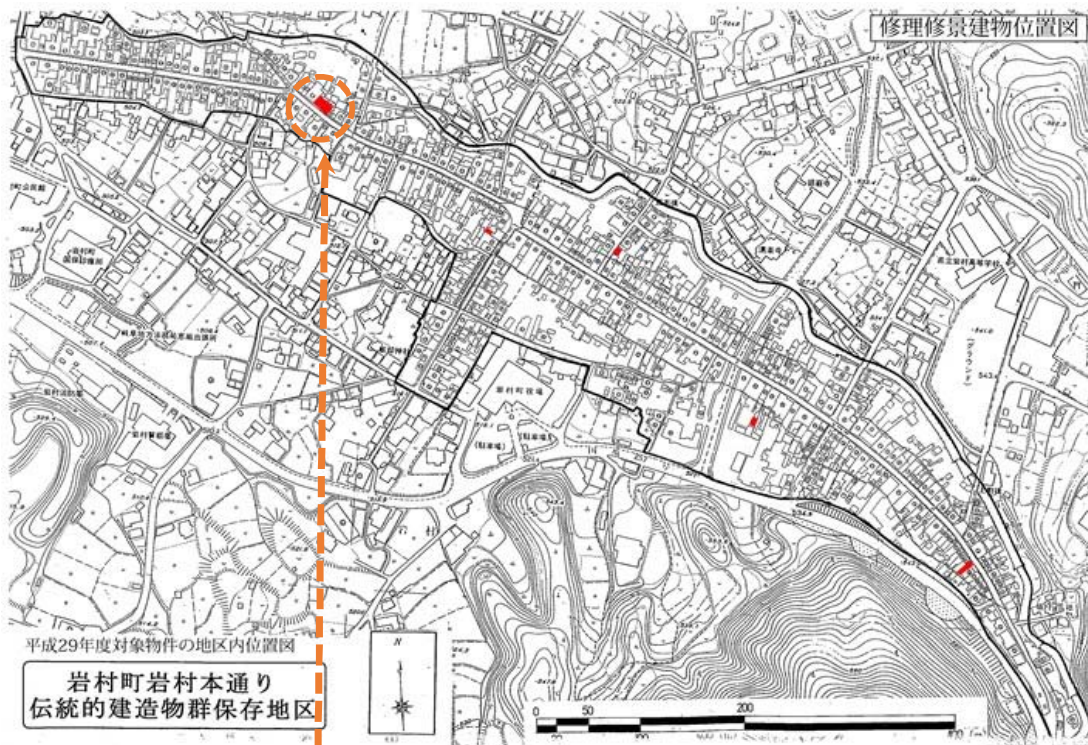
項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
岩村城石垣修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成23年度～平成31年度		
支援事業名	岩村城跡石垣西側立面測量業務委託事業 市単独事業		
計画に記載している内容	標高717mの急峻な山の頂に築造された近世山城の代表・岩村城を支えてきた石垣である。これまで修理が行われてきたが、木根や流水等によって石が浮いたり、孕んだりしている箇所も見られ、一部、崩壊の危険性の高い箇所も見られる。 本石垣は、本丸等が無くなった現在においても、城下町の形成と発展を牽引してきた岩村城の基礎として、地域の歴史を物語る大きな拠り所となっている。当事業により石垣の修理を行うことで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
地域のボランティアによる草刈り・清掃作業の際に、石垣に生えた雑草等の除去を実施した。 岩村城跡一の門付近において崩落の危険性がある石垣について調査記録保存のための写真測量を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
平成29年度 調査箇所  			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
岩村城下町まちなみ保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～平成31年度		
支援事業名	国宝・重要文化財等保存整備費補助金 市単独事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物に対し、修理修景に助成を行うことにより、後継者不足や修理費用の負担、また火災等の災害による歴史的建造物の滅失・荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで、歴史的風致の維持向上を図る。 事業概要：重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理、防災事業等。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物群保存地区内の建物4件の修理修景に助成を行った。 主な家屋修理内容：屋根の葺き替え、軸組の部分修理、外壁の修理			
進捗状況	※計画年次との対応		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
岩村城登城道整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～平成31年度		
支援事業名	主要観光資源誘客強化事業 市単独事業		
計画に記載している内容	・岩村城への登城道及び付近の修景整備 ・案内標識の設置 ・ベンチの設置等		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
地域のボランティアによる、登城道周辺の草刈・清掃作業に対して、清掃費用の助成を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～平成31年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	毎年10月第1週の土曜日から日曜日にかけて行なわれる「岩村町秋祭行事」は、岩村城を築いた加藤景廉の子である景朝のご神体を神輿に乗せ、時代衣装を身にまとった総人員約300人が長さ300mに及ぶ行列を整え武並神社を出発し、岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)約1.7kmを練り歩き、景廉が祀られている八幡神社に運ぶ。翌日、神輿は再び行列によって武並神社に帰る。行列の役割・内容などは、嘉永5年の「武並宮御祭礼規定」にある次第から変化しておらず、行列中の御神馬に使用する飾馬具類は、天保の頃のものが使用されていることから傷みが目立っている。祭りに使う衣装類の計画的な整備を行うなど、地域で長年受け継がれている伝統行事を支援することで、歴史的風致の維持向上と地域住民の景観形成や歴史文化に対する意識の向上を図る。 事業概要:岩村町秋祭行事の祭礼衣装等の整備。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
祭具・衣装の修理については、祭具修理・交換と不足分の補充、衣装修理・交換と不足分補充を行った。また岩村町秋祭行事の行事運営について助成を行った。 秋祭行事で演じられる岩村獅子舞の保存活動を行う保存会に対して伝承活動助成を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
歴史的町並み修景整備助成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～平成27年度、平成31年度以降		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	中山道の宿場町としての面影を残す大井宿周辺の建造物等について、所有者等が行う修復・修景事業の一部を助成し、町並み景観の向上を図り、連続性を向上させ歴史的風致の維持及び向上に寄与する。 事業概要：宿場町大井地区内の大井宿周辺の建造物等について、平成24年度に建造物の悉皆調査とガイドラインの作成を行う。建造物等の修復・修景事業を実施するため、地域と調整し、事業を推進する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
これまで議論されてきた明治天皇大井行在所の修景・改修については、施設の運営母体を地域住民を中心としたNPO法人として、法人設立に向け、検討を重ねたが法人設立までは至らなかった。 庁内関係部署で検討した結果、明治天皇大井行在所の修景とあわせ、今後、検討していくこととした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	明治天皇大井行在所の改修や大井宿ポケットパークの整備とあわせ、地元地域と協議を進め、地域のニーズを把握するとともにガイドライン等の策定につなげる。		
状況を示す写真や資料等			
			
庁内関係部署打合せの様子			
			
現在の大井宿の町並み			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
ポケットパーク整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年度～平成27年度、平成31年度以降		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、ポケットパークとして整備する。このことにより、町並みの連続性を生み出すとともに、トイレやベンチ、案内板を設置することにより、来訪者や地域住民の利便性の向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図る。 事業概要:宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、来訪者や住民にわかりやすい総合案内板と利便性を向上させるためベンチやトイレを設置したポケットパークを整備する。また町並みの景観に配慮した植栽などについて検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大井宿ポケットパークについて、明治天皇大井行在所の整備とあわせ、内部検討を進めた。明治天皇大井行在所と一体的な整備を考えていたため、明治天皇大井行在所の整備及び運営方針決定した後、事業実施に向け検討することとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	明治天皇大井行在所の整備方針の検討を進め、一体的な活用を図る。		

状況を示す写真や資料等



関係団体との打合せの様子



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
道路美装事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～平成30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	宿場町大井地区内の中山道は、石畳による道路整備や道路美装が行われているが、経年劣化に伴い大変傷みが進んでいるため、建造物の修景と併せて道路美装を行う。このことにより、歴史的町並みの景観の向上を図り、歴史的風致の維持向上を図る。 事業概要: 昭和62年に大井宿内中山道についての石畳化事業が行われた。中山道を石畳化することにより大井宿の特徴である枡形の遺構を明確化するものであったが、枡形全てが石畳化されておらず、中山道がどこであるのか非常に分かりにくい状況である。また石畳についても老朽化しておりアスファルトの埋め込みで補修している箇所がたくさんある状況である。 中山道を明確化するとともに、来訪者や住民が安全に散策できるようにするため、道路美装化を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
舗装工法は中山道沿線との統一とランニングコストを重視し、ロールドアスファルト舗装により平成30年度までの2か年で工事を施工することとし、平成29年度は、284m、1,891㎡の舗装を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
施工前 		施工後 	
施工前 		施工後 	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
中山道保存修景整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～平成31年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	中山道は、江戸時代の五街道の一つであり、大湫(瑞浪市)以東、藤村・竹折村・久須見村四ッ谷・中野村を経て、美濃十六宿の一つ大井宿に至り、ここより茄子川・千旦林を通り中津川宿を抜ける。この行程中、中野・大井あたりは平坦地で、通行する幕府や諸藩の諸荷物や参勤交代行列、一般の人馬の宿泊・休憩所として賑わった。現在も中山道は来訪者が多く訪れ非常に親しまれている街道であるとともに、七日市や渡御行列が行われる重要な場所でもある。この中山道を良好に保存し環境整備をすることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。 事業概要: 中山道沿線の草刈り、利便施設の維持管理に対する助成を行う。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
地区内の中山道及び沿線の利便施設（基平坂公園、西行苑、深萱休憩所、四ッ谷集会所）の維持管理を行っている沿線4地区の保存会の維持管理や活動に対する助成を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【中山道岡瀬沢保存会】 基平坂公園及びトイレの清掃(月2回 延べ168名[7名×24回])、全会員による一斉清掃(1回) 【武並地区中山道保存会】 地区内中山道の清掃活動(年2回 延べ35名) 【中山道西行保存会】 西行苑便所及び周辺の清掃(年3回 延べ40名) 【中山道四ッ谷地区保存会】 四ッ谷集会所トイレ(一般開放)の清掃・管理(週1回)、草刈り清掃(年2回)		
武並地区中山道保存会 		
中山道西行保存会 		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
ふるさと文化普及継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～平成31年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	宿場町大井地区を中心として、文化財等の文化遺産について、広く市民、来訪者に啓発することにより、歴史文化に対する意識の向上を図る。また、祭礼行事や歴史文化に関する伝承や後継者を育成することにより後世に渡って良好な歴史的風致を維持することができる。 事業概要：文化財等の保存・活用に関わっている団体やまちづくり協議会等の地域組織と連携をとりながら、文化財等の普及啓発活動を行う。また、地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会の実施、歴史遺産の調査を行うことで歴史文化に関心をもってもらい、後継者の育成に努める。	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
中山道大井宿内の中山道ひし屋資料館で筑前琵琶の演奏会、大井栄舞体験を実施し、伝統芸能に触れる機会を提供した。地区内の小学校では、年間を通じた総合学習で地域の伝統芸能（大井文楽）や日本の伝統文化（茶道、琴、太鼓）の体験学習が行われた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【中山道のれんコンテスト】11/3～11/23 大井町・長島町の中山道沿い 作品数336名 【筑前琵琶演奏会】10/10 中山道ひし屋資料館 参加者数111名 【大井小学校6年生総合学習「日本の伝統文化を学ぶ」】参加者数 58名 【中央図書館 天の川イベント「大井町に伝わる昔話」歴史講座：ここにもあった恵那の城】8/26～27 参加者数 36名 【恵那市伝統芸能大会】2/25 参加者数1,100名（出演者215名含む）		
中山道のれんコンテスト  筑前琵琶演奏会  恵那市伝統芸能大会：大井小総合学習発表  歴史講座：ここにもあった恵那の城 		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
明治天皇大井行在所整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度、平成31年度以降		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画) 市単独事業		
計画に記載している内容	当行在所は、明治天皇巡幸の当時の座敷、風呂場、便所がそのままの姿で保存されていると同時に、宿場町の町家の姿をよく残している。しかしながら増改築により当時の面影が失われつつあるため、本事業により修復・改修する。 現在一般公開を行っているが、今後はそれに加え、住民の活動の場として幅広く活用することで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
(工事のため、平成28年6月から閉館中) 昨年、行在所近隣の自治会代表や有識者から構成される行在所活用検討委員会を設置し、行在所整備後の運営主体や事業内容を引き続き検討した。行在所を管理運営するためNPO法人を新たに設立することとし、協議を進めたが収支の見通しが厳しいことから法人の設立を断念することとした。施設整備後の運営組織や事業内容が確定しないことなどから整備事業を延期した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	平成31年度以降 行在所主屋改修工事実施		

状況を示す写真や資料等



行在所活用検討委員会

行在所近隣の自治会代表や有識者代表から構成される行在所検討委員会の役員会

行在所の運営方法や利活用について検討



現在の明治天皇大井行在所の状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財を火災や盗難から守るためには、文化財及びその周辺の状況を事前に把握しておく必要があるため、消防本部、警察署等と市内の文化財について建造物を中心に所在場所の情報を共有し連携を強化するとともに、査察を行ったり啓発ポスターを配布したりすることにより予防に努め、主要な建造物の消火訓練や連絡体制の確認を行い文化財の防火防災に対する意識の高揚を図る。 盗難、毀損等の人的な災害に備えるため、担当課署は歴史的建造物のパトロールを随時行う。 また、消防設備の整備にあたっては、周辺の景観に調和したものとし、今後修理が行われる「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」や「木村邸」については、火災報知機等の設備の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年11月5日 2017いわむら城下おかげまつり火災予防パレードを開催(参加者数 129名) 平成30年3月28日 岩村歴史資料館(参加者数5名)、中山道ひし屋資料館(参加者数7名)で防火訓練を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
いわむら城下おかげまつり火災予防パレード 			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

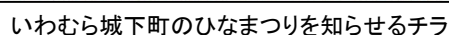
項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の普及・啓発			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を作り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努める。 市内の小中学校の児童・生徒に、地域の祭礼等伝統行事を郷土学習として学ぶよう学校を通じて依頼することにより担い手をつくり、伝統的な祭りを維持していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより、文化財保護の普及・啓発に努めた。 恵那市の子ども達に、郷土に興味や愛着を持たせる「ふるさと学習」の教材として活用するために、市内各学校へ配付する「恵那市ふるさと学習読本」を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

平成29年度に行った主な行事
 12月2日 国指定史跡正家廃寺跡発掘調査報告会 参加者数58名
 3月17日 歴史講演会(正家廃寺保存会主催) 参加者数100人
 8月26日 第33回岩村城址新能 来場者数299名(一般282人、招待17)、スタッフ等96名
 5月14日/7月29日 岩村城清掃活動 参加者数217名(100名+117名)
 4月～11月 ひし屋資料館お茶会 参加者数434名(こども園320名+茶道連盟114名)
 随時 中山道広重美術館特別企画展 来場者数12,242名(春季3,952名、秋季5,883名 特別展観 2,407名)
 市内各学校へ配付する「恵那市ふるさと学習読本」を作成した。



効果・影響等に関する報道

状況を示す写真や資料等



評価軸⑥-1

その他（効果等）

評価対象年度

平成29年度

項目

歴史的風致に対する市民意識の向上

計画に記載
している内
容

本市の歴史資源などを紹介するパンフレットを一層充実し、各種イベントやシンポジウムの開催時などに配布する。また合わせて、歴史文化を紹介する市のホームページの充実を図る。また、地域活動組織やNPO等と行政の協働による講演会の開催を行い歴史的風致を活かしたまちづくりを進める。
企画段階から市民に参加してもらい、市民の文化財や地域に対する理解と愛着を増進させることにより意識の向上を図り、文化財の保存・活用、まちづくりに繋げていく。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成30年3月の「恵那市市民意識調査」における結果の中で、歴史・文化に対する現状と、過去1年間に地域のまちづくり活動等に参加したかを尋ねる設問があり、今後も継続的に結果を見ていくことで、歴史まちづくりの効果を経年的に把握する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

□計画の進捗に影響あり

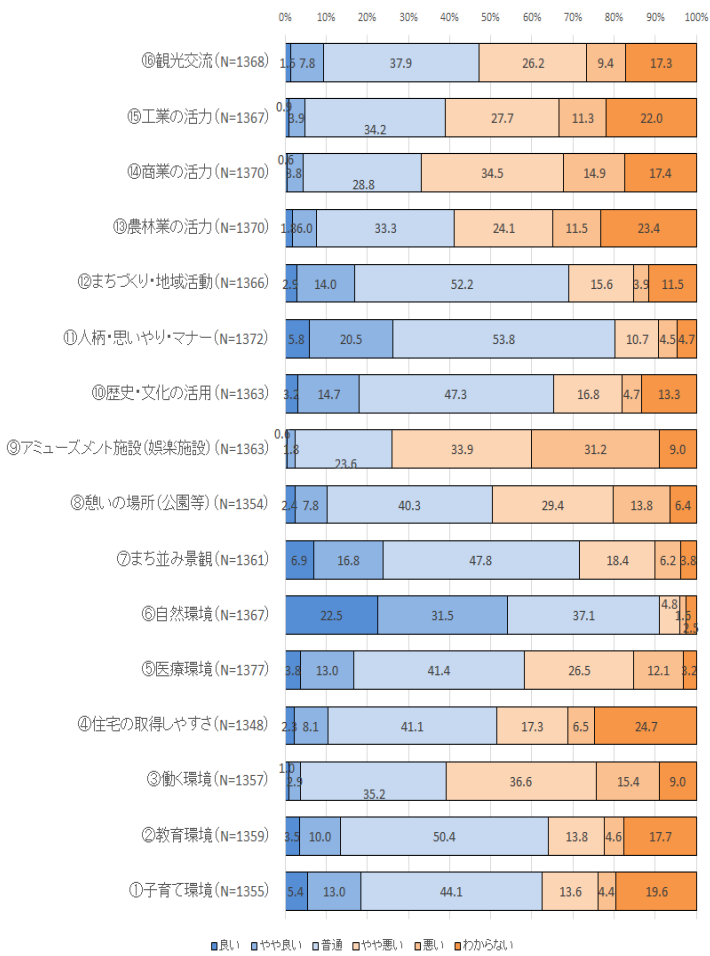
■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

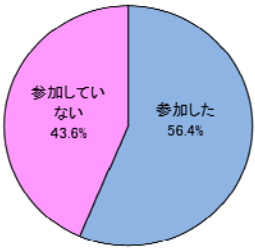
○恵那市市民意識調査 問4「あなたは、今の恵那市の状態を、どのように感じていますか。」
歴史・文化： 良い(3.2%) やや良い(14.7%)
地域の文化資源に愛着を感じる人が増えれば、「良い」「やや良い」の割合が増加すると推察される。

○恵那市市民意識調査 問31「あなたは、過去1年間に、地域の町づくり活動やボランティア活動に参加しましたか。」 参加した(56.7%)
参加した割合が増えれば、まちづくりに繋がる住民意識が高まっていることが推察される。

問4 あなたは、今の恵那市の状態を、どのように感じていますか。



問31 あなたは、過去1年間に、地域のまちづくり活動やボランティア活動に参加しましたか。



	全 体	参加した	参加してい ない
件 数	1,350	761	589
%	100.0	56.4	43.6

法定協議会等におけるコメント

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成30年5月18日 午後1時30分	
(コメントの概要) ①城下町岩村地区について 岩村の歴史的風致は、重要伝統的建造物群保存地区である商家町が中心である。この商家町は、商人が建てた家が連なるところに価値がある。今後、後継者が途絶えるなどにより、空家が更地化すると連単性が失われてしまうので、それを防ぐ方策を検討しなければならない。 空家の状況は、以前と変わらないか、増えている状況である。空家ができないよう空家の紹介や、他所から人を連れてきたりしている。今後も、空家を抑制する方策を検討しなければいけない。 建造物が連単している町並みは、火災が発生すると延焼してしまう。行政の施設には、火災報知機が設置されているが私有の建物に火災報知機を設置するには、所有者の理解が必要となる。また空家に火災報知機を設置するための手法など検討して、地域を守る体制を作らなければならない。 テレビの放送などにより、来訪者が急増しているが、これを一過性のものにするのではなく、持続可能なものにするため、どのようなまちづくりを進めるか検討をする必要がある。 岩村町は商家町が特徴であるため、他所の取り組みを参考にすることも必要である。また現在、実施されている中心市街地活性化法の取り組みも参考にしながら、今後、どこに焦点をおいてどう活性化、保全していくか検討が必要である。 ②宿場町大井地区について ポケットパーク整備事業、明治天皇大井行在所整備事業が運営組織や事業内容が確定しないことから計画どおり進捗していないが施設を利用する人、地域と行政が将来的にどのように利用していくか踏み込んだ検討をしなければならない。 明治天皇大井行在所を活用したい人と行政が施設の今後のあり方などの合意が必要となる。行政は、活用したい人と同じ方向で進め、課題を先送りせず課題解決に向け努力して欲しい。 明治天皇大井行在所の整備では、時代により建物の活用が変わり、改築が行われている部分がある。トタン外壁など取り外すだけでも修景が図られるのではないかな。 施設の運営組織については、検討が行われた時の状況が違いため、NPO法人の設立にこだわらず、他の団体も含めて、検討すべきではないかな。 ③その他 いわむら石室千体佛御開帳が催され、テレビ放映もあり非常に好評であったが、同じ町内の人でも知らない人もいる。この他にも、地域の人に知れ渡っていない文化財がある。これらを掘り起し、情報発信を進める必要がある。 (今後の対応方針) ・重要伝統的建造物群保存地区のみならず、隣接する地区外を含め、防災・防火対策を進めるために住民や地域、行政とで建造物群を守る方策を検討する。 ・明治天皇大井行在所整備事業などについて、地域と行政が将来的にどのような利用していくのか、踏み込んだ協議を進める。	